

◆優良賞◆

人の目指す平和とは

浜 岳 中 学 校 三 年

齋 藤 一 樹

ロシアによるウクライナへの侵攻は今年で二年目となる。そして今現在もウクライナの各地でロシア軍とウクライナ軍の戦闘は続き多くの一般市民が犠牲になっている。ウクライナの人々は国外に避難をしなくてはならず僕たちの日本にも避難してきた人達がいることをニュースで知った。

このロシアのウクライナの侵攻について、僕はなぜ侵攻したのか疑問に思った。いろいろなニュースを調べてみると、ロシアにはロシアの主張があるようだった。その主張を受け入れなかったという理由でウクライナは、いきなり侵攻されたようだ。

歴史を見ても人間は侵略戦争をくり返してきた。欲しい物は力づくで勝ち取るやり方をしてきた人間は、そのやり方がどれほど大きな代償を払うことになるのかを学んできていくはずだ。それにもかかわらず未だに世界には、「紛争」も「内戦」も「侵攻」も後を絶たない。一般市民を巻き込んだ大量な虐殺、なんとか逃げきれた人々の難民問題など数え上げたらきりが無いほどの損害であるにもかかわらず、なぜ人は、争いや対立を力という暴力で解決しようとするのだろうか。血を流し悲しみが広がる暴力の先に平和はあるのだろうか。人間が目指す平和は戦いや争いの上にはたつものなのだろうか。そんな平和は、いとも簡単に崩れてしまうのではないだろうか。賢く進化してきた人間ならば武力に頼らずに平和的な解決を見つけ

ることができはるはずだろう。例えば、当事者や当事国だけで話し合いをするのではなく、どちらかが一方的に不利益を被ることがないように必ず中立な立場となる人や国をしっかりとついで公正公平な判断をしながら話し合いを進めることはどうだろうか。このような時は、強い国の「正義」に流されることにならないように、また主義主張の強い方に流されることがないようにすることが大切だと思う。世界中の人々は平和に生きていくことを望んでいるはずなのだから、その気持ちをしっかりと持つて揺らぐことがないことも大切だと思う。

このように、人の目指す平和とは、人の心の中にある平和に生きていくこととする気持ちとしっかり向き合うことだと思う。自分さえよければという欲を押し通すのではなく、みんなと一緒に幸せに生きていくことを忘れずにいることで自然と成り立っていくのだと思っている。